



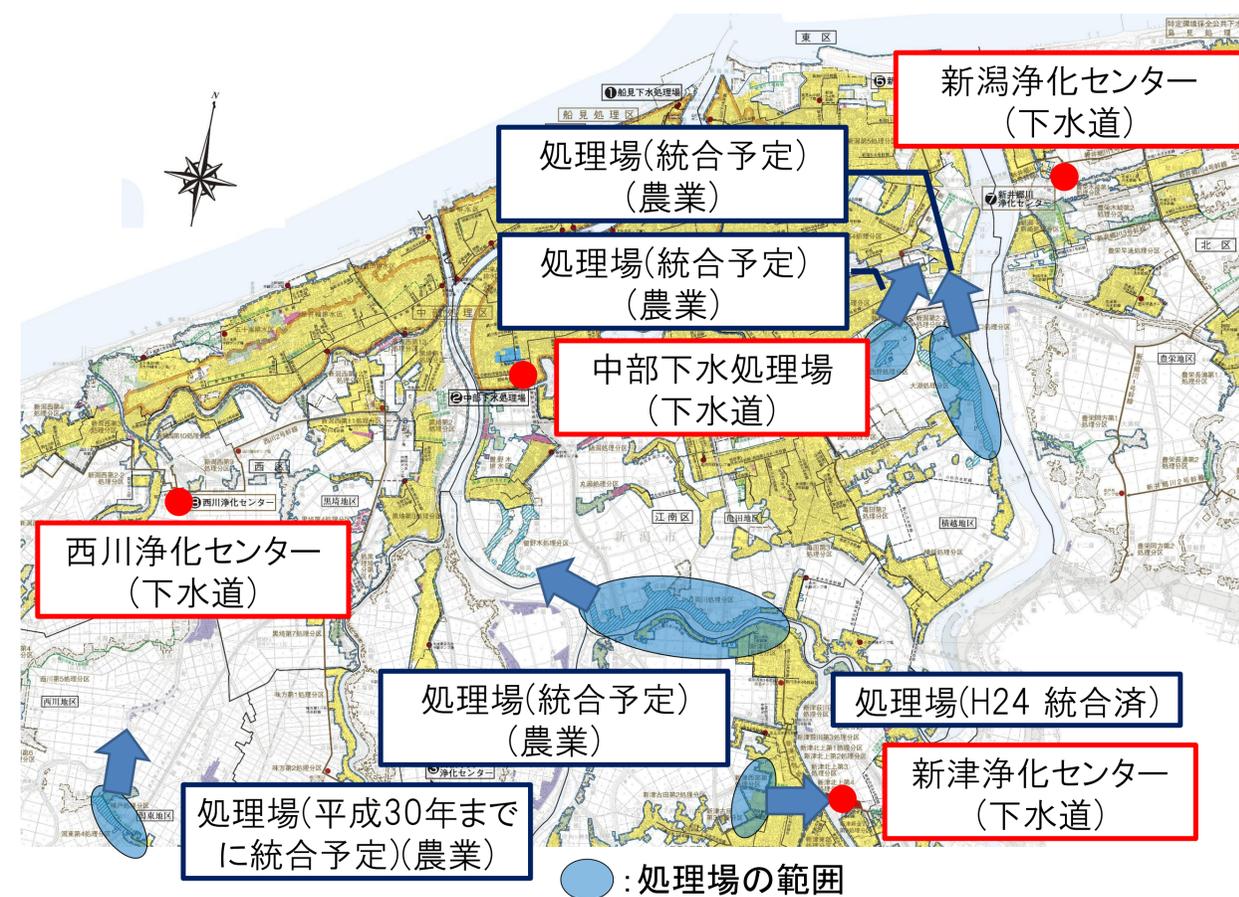
中部下水処理場

9から4に集約・再編 スケールメリット有効活用

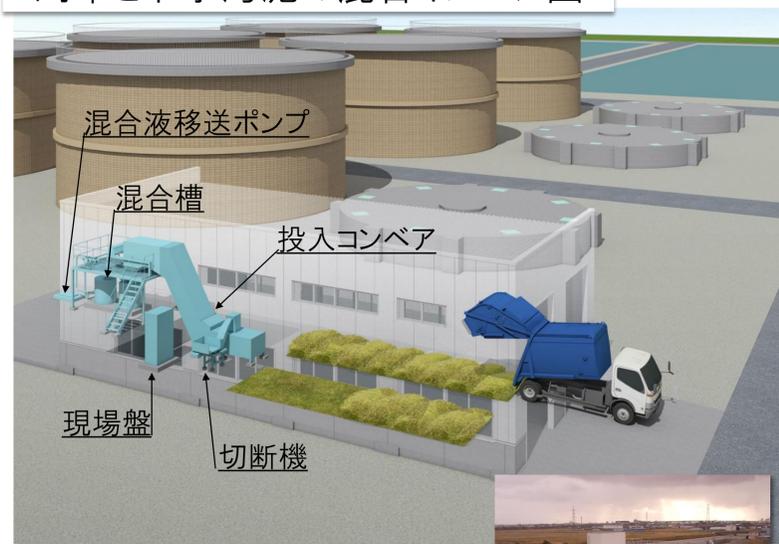
- 下水処理施設を核とした処理施設の集約・再編により、効率的な施設管理を推進
- 下水汚泥が集積することによるスケールメリットを活かした、消化ガスによる発電や刈草等のバイオマスとの混合消化の取組を進めている

Before >>> After

新潟市の事例



刈草と下水汚泥の混合イメージ図



消化ガス発電施設
平成25年1月供用開始, 280kW × 2台

・中部下水処理場では、汚泥による消化ガス発電により処理場消費電力の36%をまかなう。